

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】

都道府県名	愛媛県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	松山市立石井小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	4	3	4	3	3	25	36
児童数	141	131	139	120	131	117	5	784	

研究の概要

1. 研究主題

主体的な学びの中で確かな学力を身に付ける児童の育成

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<p>全学年・算数 児童の理解の状況に差が出やすい教科であるとともに、指導方法の工夫を具体的にに行いやすく、その成果が比較的つかみやすいため。</p>
--

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 自ら学び、自ら考える児童の育成 - 算数科における個に応じた学習を中心として - 研究の見通し（仮説） 1 個に応じたきめ細かな指導を行えば、基礎・基本が確実に身に付き、一人一人のよさを伸ばすことができるであろう。 2 問題解決的な学習を進めることにより、自ら学び考える力が育つであろう。 研究の内容・方法 1 基礎・基本を確実に身に付け、一人一人のよさを伸ばす個に応じた学習 (1) 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫 (2) 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材開発 (3) 自己評価を生かした指導の改善 2 自ら学び考える力を育てる問題解決的な学習 (1) 問題解決の力を育てる教材開発と指導方法の工夫 (2) 算数的活動の重視</p>
--------	---

平成15年度	<p>テーマ 主体的な学びの中で確かな学力を身に付ける児童の育成 研究の見通し 1 個に応じたきめ細かな指導を行えば、基礎・基本を身に付け、自分のよさを伸ばそうとする児童が育つであろう。 2 児童の実態や学習内容に応じた算数的活動を通じた学習を行えば、算数のよさや学ぶ楽しさを感じる児童が育つであろう。 3 一人一人の思いや願いを大切にされた問題解決的な学習を行えば、自ら学び考える児童が育つであろう。 研究の内容・方法 1 基礎・基本を身に付け自分のよさを伸ばす学習 (1) 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫 (2) 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材開発 (3) 指導に生きる評価</p>
--------	--

- 2 学ぶ楽しさが分かる算数的活動
 - (1) 算数的活動の開発
 - (2) 単元構想の工夫
- 3 自ら学び考える力を伸ばす問題解決的な学習
 - (1) 問題解決的な学習過程と指導方法の工夫
 - (2) 自力解決・集団思考の充実

平成16年度

テーマ
主体的な学びの中で確かな学力を身に付ける児童の育成
研究の見通し

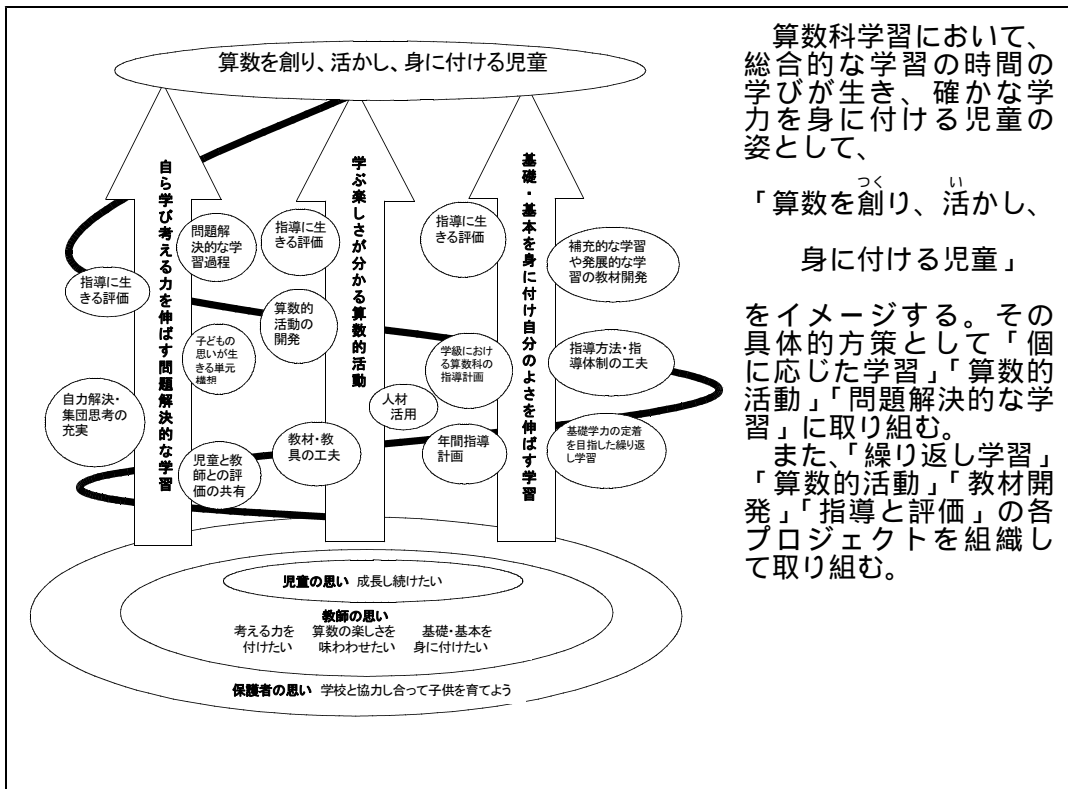
- 1 個に応じたきめ細かな指導を行えば、基礎・基本を身に付け、自分のよさを伸ばそうとする児童が育つであろう。
- 2 児童の実態や学習内容に応じた体験的学習を行えば、学ぶ楽しさを感じる児童が育つであろう。
- 3 一人一人の思いや願いを大切にした問題解決的な学習を行えば、自ら学び考える児童が育つであろう。

研究の内容・方法

- 1 基礎・基本を身に付け自分のよさを伸ばす学習
 - (1) 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫
 - (2) 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材開発
 - (3) 指導に生きる評価
- 2 学ぶ楽しさが分かる体験的学習
 - (1) 体験的活動の開発
 - (2) 単元構想の工夫
- 3 自ら学び考える力を伸ばす問題解決的な学習
 - (1) 問題解決的な学習過程と指導方法の工夫
 - (2) 自力解決・集団思考の充実

算数科を中心とした研究に加えて、他教科への広がりを探るために研究内容を変更をする。

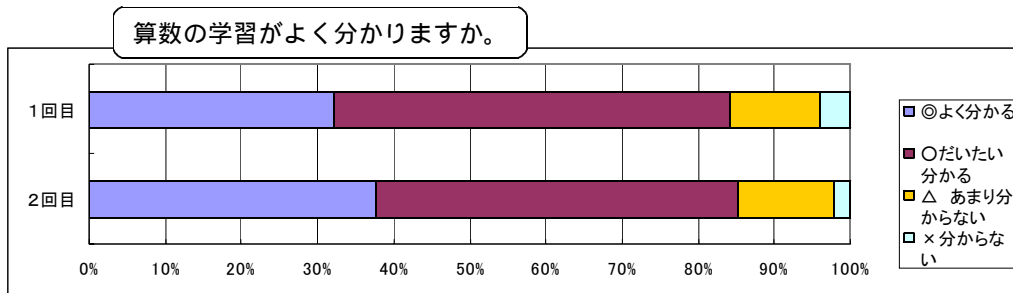
(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題
 平成15年2月と平成15年9月に全校児童への実態調査を行った。その結果から、成果と今後の課題を探った。

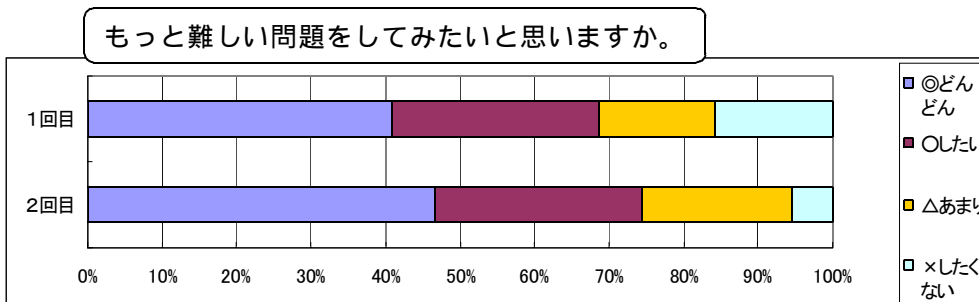
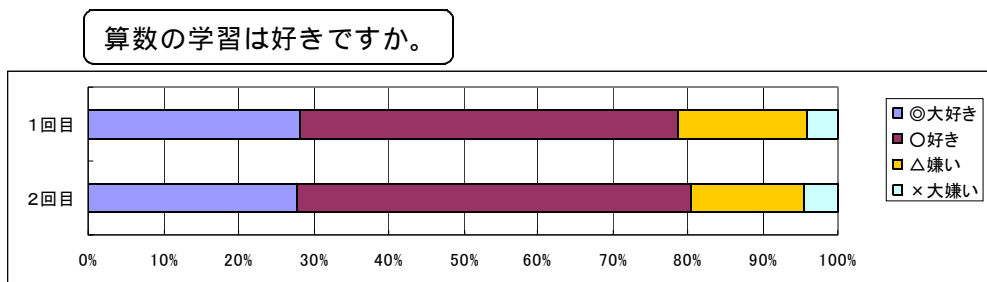
1. 研究成果

(1) 基礎・基本を確実に身に付け自分のよさを伸ばす学習



わたしたち教師の実感として、児童が算数科の学習に楽しんで取り組むようになってきたという思いはあったが、果たして基礎・基本が身に付いてきたのだろうかという疑問があった。しかし、わずかではあるが、児童は学習内容がよく分かったという思いをもちつつある。このことは、「学級における算数科の指導計画」や「年間指導計画」をもとにして指導体制や指導方法の工夫を行い、繰り返し学習や個に応じた補充的・発展的な学習を行うことが基礎・基本を身に付けることにつながっていると考える。

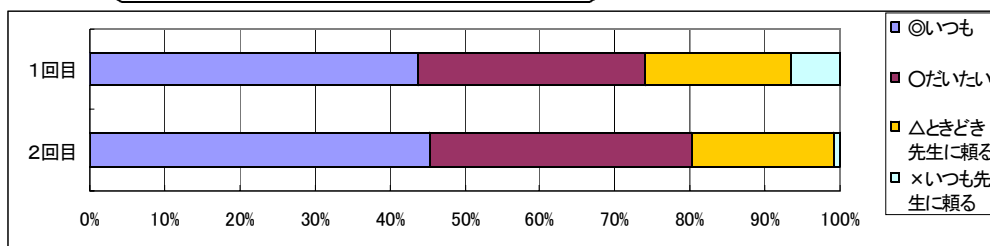
(2) 学ぶ楽しさが分かる算数的活動



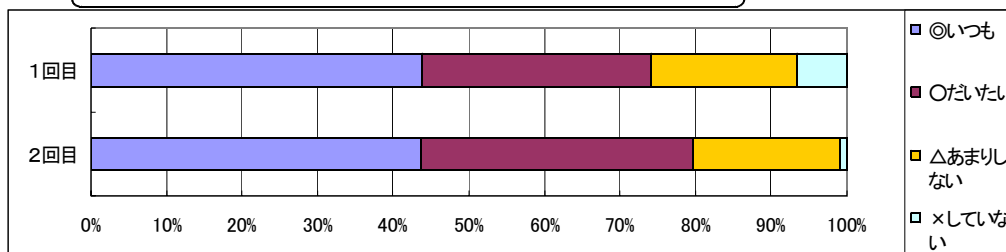
学習内容と児童の実態に応じた算数的活動を行うことによって、学習意欲の向上と思考力の育成を目指した学習の構想に努めてきたところ、学習意欲はわずかではあるが向上してきたと考える。また、参加学習に対する児童の思いとして、「道具を使って考えたい。」「教室の面積は測ったので、運動場の面積を測ってみたい。」など、算数的活動を通して学ぶ楽しさを感じてきている。

(3) 自らが学び考える力を伸ばす問題解決的な学習

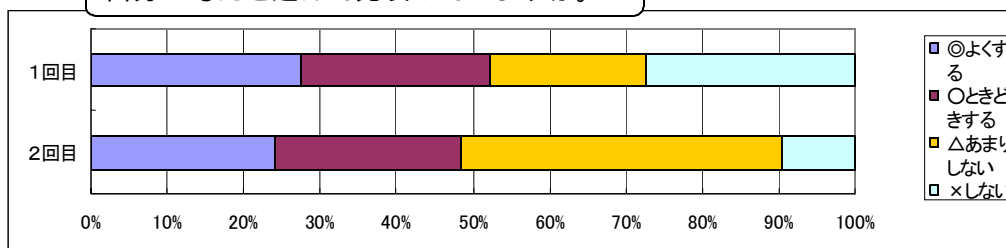
自分の力で解こうとしていますか。



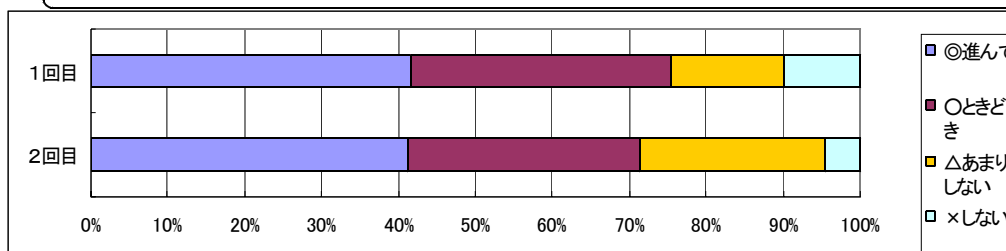
今までの学習を生かして解こうとしていますか。



自分の考えを進んで発表していますか。



友達の考えとの似ているところや違ってるところを見付けていますか。



既習の学習内容をもとにした自力解決に力を入れてきた結果、自力解決への主体的な態度が育ってきている。しかし、自力解決をもとにした情報交換や集団思考の場の充実が課題であると考えます。

2. 今後の課題

(1) 算数を創り、活かし、身に付ける児童の育成

知識や技能を中心とした学力の向上は大変重要である。しかし、学力を狭義にとらえすぎることなく、学習意欲と思考力の向上にも力点を置いた算数学習を創り上げていく必要を感じる。そのためには、学習課題の把握・自力解決・集団思考の一連の学習過程を発達段階に応じて充実させていくことが大切である。また、その中で、指導方法と指導体制の工夫、指導と評価の一体化、理解と習熟の程度に応じた指導などの方法によって集団に目を向けた指導に努めていきたい。それは、「算数を創り、活かし、身に付ける児童」の育成につながる。と考える。

- (2) 総合の学びが生きる算数学習
総合的な学習の時間に身に付けてきた主体的に学ぶ態度、問題解決能力、学びを振り返る力などを算数学習にも生かし一人一人の学びを充実させていこうと努めてきた。しかし、どの単元においても明確にアピールできるとは限らない。今後も児童の実態や学習内容に応じて、総合の学びが生きる算数学習を創造していく必要がある。
- (3) 他教科への広がり
昨年度から算数学習を中心として取り組んできて、児童は自分とのかかわりで学習材に取り組み、主体的に学ぶ態度や問題解決能力を徐々に身に付けてきている。今後、他教科においても「総合の学びが生きる」視点での授業改善に努めることによって、一層自ら学ぶ態度と確かな学力を身に付けていく必要がある。

学力等把握のための学校としての取組

目的 学習内容の定着の程度を把握し、今後の指導に生かす。
内容 全学年算数科C R T検査
時期 平成 16年 2月

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

学力向上フロンティア事業研究指定校公開授業
平成 15年 10月 22日(水) 9:20 ~ 12:15
松山市立石井小学校
松山管内の小中学校から希望参加

近隣小学校への授業公開

「算数だより」を各家庭に配布

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無